



第54号

— 発行 —



一般財団法人
石川県剣道連盟

〒920-0811
金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号室
TEL 076-253-0310 FAX 076-253-0341
E-mail:ishikawa-kendo@iaa.itkeeper.ne.jp
URL www://ishikawa-kendo.com

剣道との「再会」



(財)石川県剣道連盟
顧問医師
依 広樹

まず初めに、令和6年能登半島地震に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。また、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

私は令和2年に剣道連盟の顧問医師となりました。私自身も、三日間のごく短い期間ではありますが、石川県医師会のチームに所属し門前地区での医療支援に従事致しました。剣道を含めた日常生活を営めることが、決して普通ではなく、幸せであると痛感致しました。医師という職業を選んだ私が、まさか35歳で剣道を再開するとは思っ

ておりませんでした。色々な先生方との縁があり剣道と「再会」することが出来ました。

「剣道ってしんどい。だから、もうやらんわ。」

これは、私が高校の剣道部を引退するときに強く思った言葉です。しかし一浪して高知大学医学部に入學し、すぐに医学部剣道部に入部、秋には体育会剣道部と「二刀流」をしていました。大学の6年間は学業そつちのけで剣道と飲み会に熱中していた私は、卒業や国家試験の合格を危ぶむ両親に相当心配をかけていました。

読者の皆様も、剣道に区切りをつけることを考えた経験があるのではないのでしょうか。私は27歳まで高知県で剣道を続け、石川県に戻り外科を志した際に、剣道を辞めまして。24時間病院からの電話を気に

特集記事

- 2頁 全剣連より義援金目録受領
- 3頁 復興祈念居合道奉納演武
- 5頁 スポーツ庁委託事業報告
- 7頁 全国高校総体出場校横顔

している必要があることや、自分のエネルギーの全てを費やさなければ上司や同僚についていけなかったことも大きな要因でしたが、剣道を続ける理由がなかったのです。

上司の勧めでゴルフをやりたいだしていた私と剣道との再会の一歩目は、剣道連盟顧問医師への就任でした。恩師である近藤副会長より直接ご依頼を頂き、少しでも恩返しができるばとお受けしました。講習会に講師として参加し、椿先生をはじめ20年ぶりに多くの先生方と再会し、自分の中で剣道への欲求が芽生え始めてしまいました。医師として10年が経過し、ライフスタイルを変えるために職場も変わり、木曜日に時間が取れることとなりました。金沢市剣道連盟会長の堀内先生から稽古にお誘いいただき、剣道との「再会」に至りました。

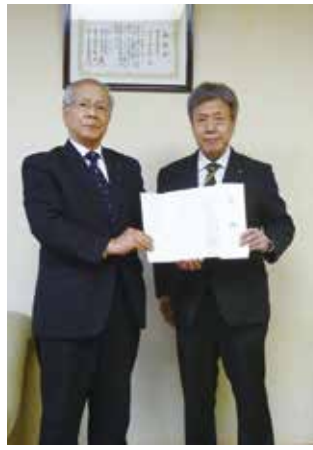


各種の大会に出場したり、芳齋剣道スポーツ少年団で稽古をしたり、母校の泉丘高校に顔を出したりと、比較的熱心に稽古しているとは思いますが、この熱量で剣道をしている理由は良くわかりません。ただ、剣道をされている先生方との「縁」により私は今も剣道が出来ています。剣道は競技ではありませんが、それ以上に人間形成を重視しく形成されているかはわかりませんが、剣道人との「縁」は形成されていたと強く感じます。剣道と「再会」させてくれた「縁」に深く感謝し、巻頭言とさせていただきます。

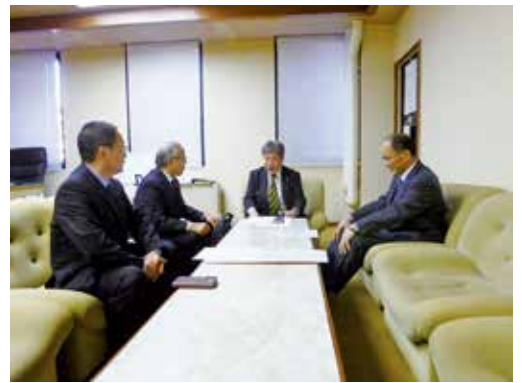
全剣連から義援金目録受領
事務局

5月9日(木)、(公財)全日本剣道連盟が能登半島地震の被災地・剣道支援に向け募集した義援金目録を、石川県剣道連盟に贈呈のため、中谷行道専務理事が来県されました。

石川県立武道館において、南信廣会長、末平佑二相談役、宇波和彦専務理事が出迎え、南会長が中谷専務理事から義援金目録を受け取りました。

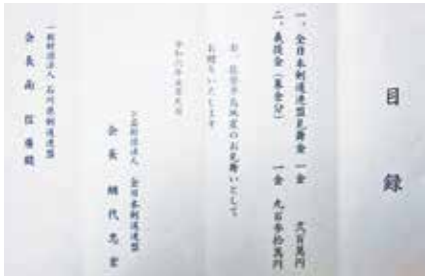


その後、南会長が県内の被災状況や剣道の活動状況について説明を行い、中谷専務理事から「剣道の復興、被災された会員への支援のために尽力をお願いします」とのお言葉を頂きました。



全剣連、全国都道府県剣道連盟そして国の内外の多くの剣友の皆様から心温まるご支援をいただき、大変心強く深く感謝の念でいっぱいです。誠に有り難うございます。この義援金につきましては、本県剣道復興、被災会員のために有効に使わせていただきます。

中谷専務理事におかれましては、大変ご多用の中のところ、遠路ご来県いただき有り難うございました。

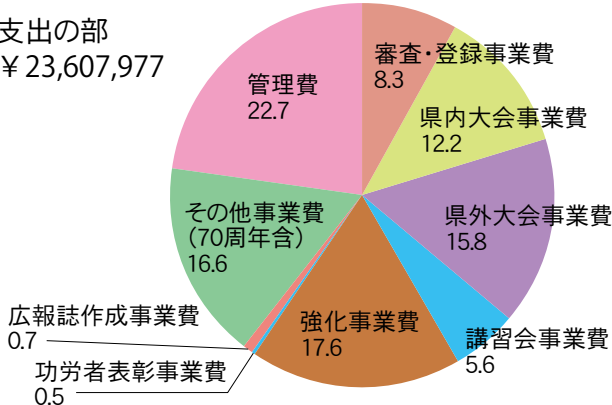


令和5年度決算を終えて
会計理事 下崎良智

本連盟の令和5年度決算は収入2227万円に対して、支出2360万円となりました。これは設立七十周年記念事業、祝賀会費、印刷製本費、報償費等による支出342万円に対して祝賀会費、記念誌販売による収入221万円となり121万円の持ち出しとなったことが主因です。そのほか例年と異なるところは、十月からインボイス制度施行により全日本剣道連盟に納める審査・登録料が預かり金扱いとなり、収入での比率が割減少となりました。

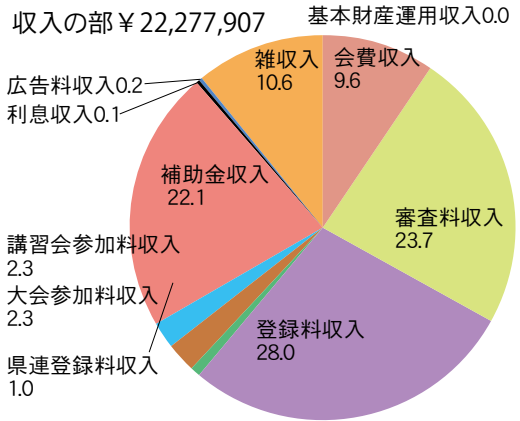
令和6年度予算の編成にあたっては、本県で令和7年に開催される全日本東西対抗剣道大会の準備のため、視察関係費を組み入れました。また大会の実施計画に沿って特別予算を練っています。これからもコンプライアンスを遵守し、会員の皆様に信頼され、開かれた本連盟会計執行に努めて参りますのでご協力をお願いいたします。

支出の部
¥23,607,977



※円グラフの数値割合は%です

収入の部 ¥22,277,907



【令和5年度収支割合】

第61回石川県居合道大会 居合道委員会



4月7日（日）、県立武道館において標記大会が開催されました。

大会に先立ち、午前中は、講師

の中村正人範士八段指導による「全日本剣道連盟居合」の講習会が行われました。その後、級位審査会で三名の受審者が合格しました。

午後は、居合道大会が行われ、開会にあたり、元旦に発生した「能登半島地震」により亡くなられた方々を偲び黙とうを捧げました。

その後、公開演武として、石川県剣道連盟杖道部員による全日本剣道連盟杖道演武、作田剛也教士七段、山口



春夫教士七段、望月隆教士七段、内灘居合道教室会員による無双直伝英信流組太刀（太刀打位）演武の後、能登半島地震で被災された七尾教室からの参加者も含む県内各教室からの参加者の下、段外、六段の6部門による最優秀選手選考演武により、各賞が選考されました。選考演武の後、七段演武、八段模範演武が行われました。

【大会結果】

▽六段の部

最優秀賞 西村真人（県居合県武）

優秀賞 高柳陽一（養浩館居合）

▽五段の部

最優秀賞 田中 甚（県警）

▽四段の部

最優秀賞 北村啓憲（内灘稽古会）

優秀賞 濱井勇介（森本剣友会）

▽二段の部

最優秀賞 最上 進（小松教室）

優秀賞 山下修二（小松教室）

▽初二段の部

最優秀賞 三輪利子（安原公民館）

優秀賞 高山秀峰（七尾教室）

▽段外の部

最優秀賞 岩本華穂（七尾教室）

優秀賞 塩田祐子（内灘稽古会）

気多大社 居合道奉納演武 居合道内灘教室

3月10日（日）、羽咋市の気多大社で居合道内灘教室が奉納居合を行いました。これは1月に行う予定でしたが、能登半島地震の発生により延期されていたものです。教室生14名が拝殿において、能登半島の復興を祈願し、奉納いたしました。



尾山神社 居合道奉納演武 居合道委員会

6月2日（日）、尾山神社にて「居合道奉納演武」が行われました。この「居合道奉納演武」は、金沢市剣道連盟主催により、例年1月と6月に行われており、昭和、平成、令和と永きに亘り続いています。



コロナ禍により一時中断しましたが、昨年6月マスクをして何とか再開。本年正月にも更なる飛躍を期し開催予定のところ、能登半島地震により中止となりましたが、今回無事開催の運びとなりました。

金沢市内では、前日より加賀藩祖・前田利家公の金沢入城を祝う「金沢百万石まつり」が行われ、6月の演武は奉賛行事の一つとして行われています。

石川県剣道連盟居合道部も開催に協力、県内8教室からの参加の下、魔を打ち払い、明るい明日を切り開くべく、「振り一振りに心を込めて奉納させていただきました。」被災された皆様方の一日も早き復興をご祈念申し上げます。

春の剣道講習会

普及委員会



4月13日（土）、県立武道館において「令和6年能登半島地震」の被災地からの会員を含む51名が参加し、「春の剣道講習会」が開催されました。

藤井勝司教士八段が講師を務め、剣道人口の減少状況、「暫定的な審判法」における鍔ぜり合い等の諸問題について、講話があり、ゲ



ループに分かれて「暫定的な審判法」の反則や判定基準についての疑問点などを討議し、続いて全体で協議を行いました。



その後、「木刀による剣道基本技稽古法」では、指導に当たつてのポイントや注意事項等について実技を交えた説明を受け、午前の部を終了しました。

午後からは「日本剣道形」について、初めに講師から太刀の形七本と小太刀の形三本のポイントと留意点の説明が行われ、これに基づき受講生は実技を行いながら、講師に不明な点を積極的に質問するなど活発な取り組みが見られました。

終了後は、県剣連の稽古会に参加し、気持ちの良い汗を流しました。

第72回郡市対抗剣道大会 県知事賞新設

事業委員会



5月5日（日）、県立武道館において女子二名・男子七名のチーム編成による標記大会が開催されました。元

旦に発生した能登半島地震により被害が大きかった珠洲市、輪島市、鳳珠郡が出場を見合わせる中、今大会から優勝チームには県知事賞



（優勝カップ）が贈呈され、復興への願いを込め10の郡市剣連参加の下、打太刀谷口 智教士七段、仕太刀 米山友博教士七段による日本剣道形の演武を皮切りに熱戦が繰り広げられました。

試合結果は以下のとおりです。

- 優勝 羽咋郡市
- 二位 河北郡市
- 三位 金沢市
- 三位 加賀市



「スポーツ庁委託事業」 授業協力者活用実践校紹介

令和5年10月17日(火)、穏やかな日差しが降り注ぐ志賀町立志賀中学校で、「令和の日本型学校体育構築支援事業」が開催されました。

授業協力者には隣接する羽咋市在住の本吉秀嗣氏と、授業者の金子義和教諭がチームティーチングを組み、2年2組30名の生徒を対象に配当6時中5時の授業として、



剣道の所作を振り返りながら面打ちの基本までを指導する公開授業を行いました。

参加者には、(公財)全日本剣道連盟より常任理事軽米満世氏(普及委員会学校教育部会委員長)、岩脇司氏(普及委員会学校教育委員)、小松市立芦城中学校校長、南信廣氏(県剣連会長)、中央オリエンテーション受講者本吉秀充氏(中能

登中学校教諭)が出席し、公開授業後授業協力者を交えて「効果の検証(授業整理会)」をしました。

生徒たちは、武道の授業ということで若干緊張した様子が見られましたが、授業協力者からの声掛けに、主体的にメリハリ良く行動する場面が見られ、前時で学習した所作の確認や友達との対話的な学びに向けて、協力して授業に臨む姿が見られました。

授業整理会では、授業協力者から「限られた配当時間での指導配分の工夫、運動量をどう確保するかなど課題も見えてきたが、最終日には学習したことの達成感や発表会で武道への興味関心を育みたい。」、授業者からは「専門家の言葉は大



きい。T1・T2交互に声掛けすることが、生徒の集中力持続を感じさせた。」等、学習への興味関心の向上を感じる声がありました。

参加者からは、「何よりも大きな声が出ており、生徒の表情が生き生きしていた。」、「所作事に重点を置いた点良かった。70歳にして打ち込み、少年剣道指導の実績がありエネルギーも感じた。」、「シューズの並べ方を目で確認し、巡回個別指導に至るまで体育授業におけるT1とT2のコラボが見事だった。」などと、授業協力者と授業者との役割分担と連携を評価する声が聞かれ、限られた時数で運動量を上げるための手立てなどへの助言もあり、次につながるとある授業整理会となりました。

(報告者)スポーツ庁委託事業

コーディネーター 山邊 哲夫

「第15回女子剣道指導者講習会」に参加して

女性委員会

本田 仁美

2月17～18日、姫路市で開催された標記講習会に堀内宏子先生と参

加させていただきました。

私は前年も同じ講習会に参加させていただいており、内容も「日本剣道形」「互格稽古・指導稽古」「木刀による剣道基本技稽古法」「指導法(基本動作)」「指導法(応用動作)」と同じものでしたが、「繰り返し講習の柱となる大切な事である意義」を感じました。

日本剣道形や木刀による剣道基本技稽古法、基本動作指導などの実践もさることながら、山中洋範士、寺地里美教士など錚々たる顔ぶれの先生方が講習の中で度々触られたのは、立ち方、歩き方、座り方、木刀や竹刀の持ち方、剣道具の付



け方や外し方など、細かい所作まで気を遣えということでした。

寺地講師が「みなさん指導者なので、面紐は後ろで解いてくださいね。」とおっしゃった時、それまで前まで解いていた私はハッとしました。

指導者の所作を見て、子どもたちは真似をする。正しく教えるためには、まずは自らが「正しく振舞う」「正しい剣道をする」。それが松田勇人範士が前日も今回もおっしゃった『示範』であり、そのためには自身自身がしっかりと「正しさ」を意識し、学び、稽古を積みまなくてはならないと改めて思いました。

子どもたちが剣道を続けるためには、自分もそうだったように「稽古が楽しいと思えること」「勝つ喜びを知ること」はとても大きな要素ですが、小さい子どもだからと礼法や「心技体」の「心」をおざなりにせず、優しい中にも厳しいところは厳しくできる指導者でありたいと思います。

最後になりましたが、震災被害間もない石川県からの参加というところで、先生方や全剣連の方々、他の受講者のみなさんから多くの温かいお言葉をいただきましたことに深く感謝し、今後の励みといたします。

中央審査合格体験記

「剣道六段に合格して」



内灘町

本 郁夫

5月の名古屋審査会で、六段合格の栄を受けました。これまでに、多くの先生方に稽古をつけていただき、また剣道仲間と竹刀を交えることで、合格に至ることができました。この紙面をお借りして、厚くお礼を申し上げます。

この間、剣道に対する向き合いから、所作事、姿勢、着装などから、技術面などの多面にわたり、学ぶことができました。先生方の厳しくもあり、愛情あふれる指導の下で、何度も同じことを注意されましたが、すぐに身に付くわけでもなく、地道に教えていただき重ねて感謝申し上げます。

しかしながら、今でも会得・改善されたものではありませんが、今後も先生方の教えを吸収しながら、自分自身が工夫を凝らし、稽古に

精進してまいる所存であります。

審査会では、今年からか、六段審査の受付時間が「51歳以上が午前9時、50歳以下が午後12時半」に変更となり、前日からの泊まり込みの参加となりました。実技審査でも、年齢の高い方からの順になりました。従い、私の前の受験者全員は年上となり、その様子を見ることができ、幾分気が落ち着き、自信が持てたようです。

実技審査では、発声と立ち姿勢、間合いに気を付け、中途半端にならないよう打ち切ることだけを意識した結果、2回の審査とも満足のいく立会いができました。

稽古会では、石川県剣道連盟（木）、内灘町剣道連盟（金）宝達志水町（土）、かほく市日曜会（日）、無声会（火・木）、彩土館、県立工業高等学校の稽古会に精力的に参加させていただきました。もう、生活に剣道がライフワークとして組み込まれました。

六段審査合格を目標に定め、できることの全てを集中して、本気で取り組んだことが、実技審査の2回の立会いに表れたものと思っております。

ります。こちらが真剣になればなるほど、先生方の指導も熱心に伝えてくれたように感じました。結果として六段の段位をいただきましたが、そこに至るまで過程の稽古で学ぶことが多く、充実した稽古会で、得るものが大きかったと思っております。

よく、ゴルフではスコア100を切るくらいが一番楽しい、という言葉が聞きます。剣道六段がゴルフではどれくらいになるか、わかりませんが、汗をかけた、当たった、楽しかった、という自己本位剣道から六段の段位にふさわしい気位・品格を身に着け、凛とした正しい打突、手の内、間合い、攻め、所作、姿勢がきちんと自然体で現れることが目下の目標です。

合格後、稽古において、以前と変わったと言われることがありますが、竹刀との間合いが感じ取れるように、こちらの見える景色が変わったように感じます。年齢的にも体力のピークを過ぎ、量から質、研究・工夫を凝らし、常に高みを目指しながら、生涯剣道として剣道を楽しんでいきたいと思っております。

全国高校総体 出場校の横顔

男子団体 羽咋工業高等学校

監督 田畑 武志

令和6年度全国高等学校剣道大会(大分県大分市開催)に二年連続13回目の出場をすることが出来ました。

元旦の能登半島地震における一か月以上に及ぶ避難所生活や断水生活を乗り越えての出場となり、出場決定後の部員の練習に対する高い意識と意気込みを日々感じています。

羽咋工剣道部は創部以来歴代の諸先生方先輩方が大切にしてきた「剣気不屈」の部訓の意義を練習前に唱和し、志気を高めたうえで稽古を実施しています。練習内容は素振り・切り返し・打ち込み・懸かり稽古・稽古とシンプルな練習ですが「剣気なくして剣道なし」という言葉を常に心に秘めて修練しています。

今回の出場に際し、先輩方が築かれた昭和41年度岩手県インターハイでの男子団体ベスト16を超える結果が残せるよう生徒とともに

日々一生懸命稽古に精進していきたくと考えております。



女子団体 金沢高等学校
監督 土居 裕佳

先日の県総体、また北信越総体において女子団体個人共に優勝することができました。日頃から応援してくださる方々や中学時まで彼女たちを大切に育ててくださった先生方に改めて感謝申し上げます。



新年度以降、本当に成し遂げた目標はなにか、そのためにどうしていくべきなのかという彼女たちの強い意志があつて進んでくることができました。日本一にふさわしいチームになることは簡単なことではありませんが、そこを目指すことにこだわり、心技体全てにおいて必要なことを日々積み上げています。北信越優勝後も一喜一憂することなく更なる高みを目指す姿には、人としての強さや逞しさも感じているところです。

能登半島地震により今もなお避難生活を余儀なくされている方々がおられる中、私たちができることは剣道を頑張ることです。インターハイでは、県勢初の優勝を本気で獲りにいきます。私自身が十一年前に見ることができた日本一の景色を、今度は彼女たちと見ることができるよう、監督として最善を尽くしたいと思っています。



〔全国大会等記録〕(1~6月)

第33回北信越高等学校新人剣道大会

2月3~4日、富山県西部体育館

◇男子団体

▽準々決勝

敦賀 ③-① 金沢桜丘

丸岡 ③-② 羽咋工業

◇女子団体

▽準々決勝

金沢 ③-① 北陸

▽準決勝

五泉 ①-① 金沢

第33回全国高等学校剣道選抜大会

3月26~28日、春日井市総合体育館

◇男子団体トーナメント

▽一回戦

高千穂(宮崎) ②-① 金沢桜丘

◇女子団体トーナメント

▽一回戦

東海大相模(神奈川)代 ①-① 金沢

第46回全国スポーツ少年団剣道交流大会

3月29~31日、群馬総合SC

◇個人戦▽女子の部

第二位 桜木 佑圭(中能登中)

第22回全日本選抜八段優勝大会

4月21日、名古屋市中村SC

▽一回戦

竹内 司(岡山)ト 杉本 卓也

第71回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

4月29日、エディオンA大阪

▽一回戦

大分 4-1 石川

第48回東北日本居合道大会

5月26日、燕市体育センター

◇七段の部

▽優秀賞

作田剛也(小松居合道稽古会)

北川裕美子(金沢梅鉢稽古会)

◇五段の部

▽優秀賞

川上照子(白山市剣道連盟)

第62回北信越高等学校剣道大会

6月14~16日、長野市真島総合S A

◇男子個人

優勝 森 健真(羽咋工業)

第三位 藤井啓士朗(金沢桜丘)

◇女子団体▽準々決勝

金沢 ②-① 富山北部

▽準決勝

金沢 ②-① 新潟青陵

▽決勝

金沢 ②-① 五泉

◇女子個人

優勝 亀井 琴葉(金沢)

準優勝 松生 惟里(羽咋)

第三位 氣谷 妃風(金沢)

中央審査会合格者

◇剣道

▽七段 尾崎 泰之 浦 章

▽六段 針原 直孝

▽六段 橋本 隆志 桶田 順平

▽居合道 越野 美喜 本 郁夫

大阪杖道大会入賞結果

杖道委員会

6月9日(日)、大阪市立修道館において第61回大阪杖道大会が開催されました。10府県120名の杖友が参加し、当日の参加選手で打太刀とペアを組み、杖道(仕杖側)の技を競いました。初段から六段の部で個人戦が行われ、初段の部で中明美さん(白山市)が優勝しました。

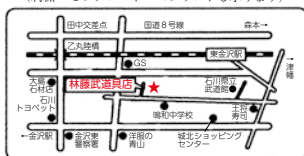


林藤武道具店

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1番地83
Tel.076-252-2220 Fax.076-252-2240
HP <http://www.rindoubudouju.jp/>
E-mail:budou@chive.ocn.ne.jp

●定休日/月曜日

〔営業品目〕
剣道・柔道・空手・なぎなた・武道具全般
(刺繍・セッケン・ネームプリントも承ります)



武道具の
ハシモト
KIRI BRAND

金沢市上荒屋7丁目67 TEL249-8233
〒921-8065 FAX249-9139